

# Echo

N0119 平成 14 年 8 月 1 日

発行：(社)福島県臨床衛生検査技師会

〒960-1247 福島市光が丘 1 番地

福島県立医科大学附属病院検査部

発行責任者：比佐 哲夫

編集委員長 金子 隆子

TEL.024-548-4290

## 第 3 4 回福島医学検査学会、平成 1 4 年度 (社)福島県臨床衛生検査技師会総会を終えて

第 3 4 回福島医学検査学会・定期総会がいわき支部担当で 5 月 1 1 日・1 2 日の両日にわたり、いわき市文化センターにて開催されました。お陰様で成功裏に無事、終了することができました。

参加者は会員 2 9 8 名、賛助会員 6 2 名、特別講演では医療関係者の参加もあり記名者延べ人数は 4 0 1 名になりました。

“いわきの海のうねりのように”をメインテーマにいわきからのあらたなうねりの発信となる学会にしようと実行委員を中心に、支部会員が一丸となって取りくみました。



一般演題の発表形式は従来のスライド発表の他に Windows 版 Power point を使用してのパソコン発表を試みました。賛助会員各社の貴重なノートパソコンを借用し、スクリーン上の鮮明な画像が映し出され IT 時代の

到来を感じたことと思います。

市民公開講演は(財)ふくしま海洋科学館の館長、阿部義孝先生による「ノア方舟」現代の水族館や動物園の役割、特にストップ・ザ環境破壊への熱い思いが胸に響きました。

定期総会では功労賞 3 名、奨励賞 6 名、技師会学術論文賞、県学術賞各 1 名の方々の授賞式がありました。1 1 名の方々、まことにおめでとうございました。また、新会長に比佐哲夫氏、副会長に青木富美男氏と山端陸夫氏が万丈一致で承認されました。その他新理事も決定し、「比佐丸」の出航となりました。

懇親会は平安閣において、四家啓助いわき市長や石井正三医師会長がお忙しい中、ご出席下さり、盛大に行われました。いわき市の市の魚、「メヒカリ」も唐揚げで、旬のかつおも並びました。余興は「じゃんがら念仏踊り」でした。

快晴のお天気にも恵まれた 2 日目ですが、一般演題 3 0 題、その内、生理検査関係の発表が多く、今学会の特徴ではないかと思われま

す。「ランチョンセミナー」は 3 会場で行われ、ランチが足りなり、嬉しい悲鳴をあげました。

「特別講演」は感染対策の TSUNAMI と題して、大阪大学医学部附属病院感染症対策部副部長の浅利誠志先生がエネルギーに講演されました。検査技師よ頑張ろうよというエールとともに。学会・総会が盛会に終了できたことを感謝の気持ちと共にご報告します。(金子記)



## 会長に就任して

会長 比佐 哲夫

平成14年5月11日の定期総会において西村陽司前会長の後任として、役員推薦委員よりご推薦いただき青木富美男、山端陸夫副会長と共に平成14・15年度の会長に就任させていただきましたことになりました。

950名を越える会員の長として歴代の会長同様、うまく会の運営ができるのだろうかと重責と不安でいっぱいです。幸い翌12日の理事会において高橋事務局長、松本学術部長、岡田組織部長、小林渉外部長が引き続き、新たに金子広報部長が常務理事として就任いただき、技師会の運営にあたり心強く感じております。

会員皆様のご支援、ご指導を賜りながら医療技術の進歩に伴う検査技術の向上、診療報酬の大幅な引き下げ、医療経営の合理化等変化する環境に対応できる検査技師を目指し、活力ある技師会にするために微力ながら精一杯がんばります。

## 新役員紹介

会長	比佐 哲夫	(福島県保健衛生協会)
副会長	青木 富美男	(県立会津総合病院)
副会長	山端 陸夫	(県立総合衛生学院)
常務理事	高橋 清明	(県立医科大附属病院)
	松本 幸男	(太田熱海病院)
	岡田 譲	(羽金病院)
	小林 正一	(公立相馬総合病院)
	金子 隆子	(かしま病院)
理事	中島 久和	(福島県保健衛生協会)
	大花 昇	(大原医療センター)
	安斎 幸雄	(太田西ノ内病院)
	遠藤 隆	(太田西ノ内病院)
	高木 尚弘	(白河厚生総合病院)
	根本 達也	(東北病院)
	矢沢 正隆	(竹田総合病院)

	山内 啓蔵	(有隣病院)
	三森 美津江	(総合磐城共立病院)
	山口 順市	(呉羽総合病院)
	荒 千恵子	(相双保健福祉事務所)
	武花 利美	(小野田内科胃腸科)
監事	梅津 芳彦	(福島県医師会)
	深谷 豊子	(自宅)
	菅野 英明	(福島労災病院)

事務局 福島県立医科大学附属病院検査部内

## 新理事のご挨拶

東北病院

根本 達也

本年度より理事に新任されました根本と申します。簡単にプロフィールをご紹介致します。当院は精神科単科病院となっており、ちなみに初代県技師会会長、落合玄一氏は現院長の祖父にあたられます。検査業務は技師2名で検査全般を、萬屋的に行っております。

さて医療業界に目を戻しますと激しさは言うまでもありません。検査技師も経営面そして技術面においてなお一層の物が求められると思われれます。技師会に於いては、さまざまな事案に着実に対応しているところです。

私といたしましては、会員各位の方々、役員諸先輩の方々に、ご指導ご鞭撻を仰ぎつつ、微力ながら技師会活動に取り組んで参る所存です。今後とも宜しくお願い致します。

呉羽総合病院

山口 順市

この度、平成14年度総会に於いて選任され理事を担当することになりました。今まで私の県技師会への活動として血液研究班班長及び選挙管理委員を経験はしましたが理事という大役を任されることに対して責任の重さを感じております。

高齢化社会、診療報酬の引き下げ、医療費3割負担決定などを含め医療情勢は年々変化し厳しさを増す中、技師会としては今、何をなすべきか、何ができるのかを考え会員のためにも有益な組織として発展していけるよう一理事として会務に努力していく所存でございます。何分、不慣れではございますが会長はじめ各理事の方ならびに会員の皆様からのご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



## 検査のお仕事

### 『体外受精に関わって』

いわき婦人科内科  
前田 真知子

実体顕微鏡下で採卵したばかりの卵を探すために直径 55mm のディッシュに卵胞液を 2 ~ 3mm いれりと成熟した卵はキラキラと青白く光って見えます。よくみると真ん中に白いポチツとした点が見えます。これが人間の身体の細胞の中で一番大きいと言われる卵細胞です。(ちなみに一番小さい細胞は精子です)顕微鏡で見ると直径 0.1mm 程度の卵は幾層にもなって顆粒膜細胞から栄養をもらい守られています。青白く光って見えたのは顆粒膜細胞だったのです。

1992年9月(平成4年)毛利 衛さんがスペースシャトルに日本人初の科学宇宙飛行士として搭乗しました。宇宙から地球を眺めたときそれがいかに美しいかということをも毛利さんは「地球は青く輝いて生きている感じがした」と表現しました。

私は子供の頃から宇宙飛行士に大変憧れを持っていて毛利さんや向井千秋さんを当時羨ましいと思っていました。(私は体型も知力も視力も条件には合わないのに笑ってしまいます)

その同じ年に当院が体外受精を始め、ディッシュの中の卵細胞を見た時、それは青白く輝いた地球だと思いました。あれから10年経った今でもその感動は変わりません。

1987年いわき市内郷に菅原延夫院長がいわき婦人科内科を開院したとき、私もスタッフのひとりとして勤め始めました。小さなクリニックに検査技師が必要かしら?と思いましたが、一般不妊治療に人工授精(AIH)が加わり精子凍結、体外受精、顕微授精、受精卵の凍結そして融解胚移植とステップアップして気が付くと10年経ってい

ました。病院内の結束も固くなり全員、“妊娠”という目標に向かって、誇りを持って仕事ができるまでになりました。

検査技師の主な仕事は既にプロトコールがありそれに従って正確かつ迅速に結果を出すことですが、高度生殖補助医療(ART)では十分に解明されていない未知の世界で、頑張れば自分で道を開いていける分野です。さまざまな技術革新が起こり近年の医療の中でもその進歩ほどめざましいものはないと思います。

学会や研究会等で知り合った人達と連絡を取り合い最新の技術の情報交換をしてレベルアップしてゆくことに達成感を感じますし、今までの人生の中で一番充実した日々を過ごしています。私がここまでやってこられたのは情熱と体力のなにものでもありません。家族の理解と協力に支えられこれからも固くなりがちな頭を解きほぐして、もう暫く頑張ろうと思っています。

### 『日本臨床検査技師連盟だよりから』

連盟への加入を促進しましょう!

平成14年5月31日現在、加入口数は4,327口です。このうち福島県は140口です。

{活動報告}

4月20日(土)日本臨床検査技師連盟

常任委員会開催

4月24日(水)坂口厚生労働大臣との懇談

5月08日(水)阿部正俊参議院議員訪問

5月22日(水)今井 澄議員出版記念会へ

5月27日(月)「亀井喜之未来セミナー出席」

6月05日(水)「平成研究会セミナー出席」

### 平成14~15年度(社)福島県臨床衛生検査技師会生涯教育委員決まる

委員長 青木富美男 県立会津総合病院 (副会長)

委員 岡崎 幸雄 福島県保健衛生協会(東北支部)

武田恵美子 福島県保健衛生協会(東北支部)

大河原千恵 太田熱海病院 (県南支部)

帯施 晃 小名浜生協病院 (いわき支部)

遠藤 辰吉 公立相馬総合病院 (相双支部)

**平成15年度(社)福島県臨床衛生検査技師  
会総会並びに第35回福島医学検査学会開  
催要項について**

さる、7月20日に開かれた第2回理事会  
で県北支部の大花 昇理事から来年度の学  
会・総会の開催要綱の発表がありましたので  
報告します。発表方法は来年もパソコンOK。

《開催要綱》

1. 会期 平成15年5月24日・25日
  2. 会場 24日(土) 福島テルサFTホール  
福島市上町4番25号  
TEL024(521)1500  
25日(日) 福島県立医科大学  
福島市光ケ丘1番地  
TEL024(548)2111
  3. 会長 大花 昇(大原医療センター)  
副会長 高橋清明(県立医大附属病院)
  4. 実行委員長 高橋和典(福島赤十字病院)
  5. 事務局長 藤野 高志(いちかわクリニック)
  6. 学会事務局  
〒960-0112 福島市南矢野目字鼓田6-1  
いちかわクリニック臨床検査科内  
024(554)0303 FAX024(554)2521
  7. 日程  
5月24日(土) 福島テルサFTホール  
1) 公開講演(予定)  
2) 平成15年度  
(社)福島県臨床衛生検査技師会総会  
5月25日(日) 福島県立医科大学  
1) 一般演題発表: 口演発表、  
1題10分(発表7分、質疑3分)  
スライド発表またはパソコン発表  
2) ランチョンセミナー(予定)3会場  
3) 特別講演(予定)
  8. 学会参加費  
会員 3,500円
  9. 学会懇親会  
日時 平成15年5月24日(土)  
18:00~20:00  
場所 福島ビューホテル  
会費 3,000円
- 主催 社団法人福島県臨床衛生検査技師会  
担当 県北支部

平成14,15年度各支部事務局のご案内

会津支部

小竹 文美子

竹田総合病院検査部 0242-29-9924

県北支部

藤野 高志

いちかわクリニック 024-554-0303

県南支部

田村 功

太田熱海病院 024-984-0088

相双支部

岡本 慶子

公立相馬総合病院 0244-36-5410

いわき支部

志賀 真砂子

微研東北中央研究所 0246-36-7111

学 術 部 だ よ り

生理検査

期日 9月7日(土)

場所 サンフレッシュ郡山

内容 「呼吸機能検査について、催眠時無呼吸  
症候群について」

講師 高崎先生(太田記念病院)

一般検査

期日 9月28日(土)・29日(日)

場所 土湯温泉&県立医大

内容 東北地区研修会と共催で

テーマ「US(尿沈渣)ワールドによろこそ」

輸血検査

期日 9月7日(土)

場所 郡山市プラザ(ビックアイ)

内容 第15回福島輸血懇話会

「輸血のチェックポイント」

東京慈恵医大教授 星 順啓先生

編集後記

会誌 Echo 119号から、編集を担当することになりました。前任者の皆様お疲れさまでした。不慣れではありますが、せいじっぱい、充実した紙面作りを心がけたいと思います。この記事は <http://www.fukushima-amt.or.jp/> 上でも見られます。色つきです。(菱川・郷田・大友・金子)